重要

医薬品安全使用ニュース

インチュニブ錠投与時の注意点について

効能・効果：
〇注意欠陥/多動性障害（AD/HD）

概要

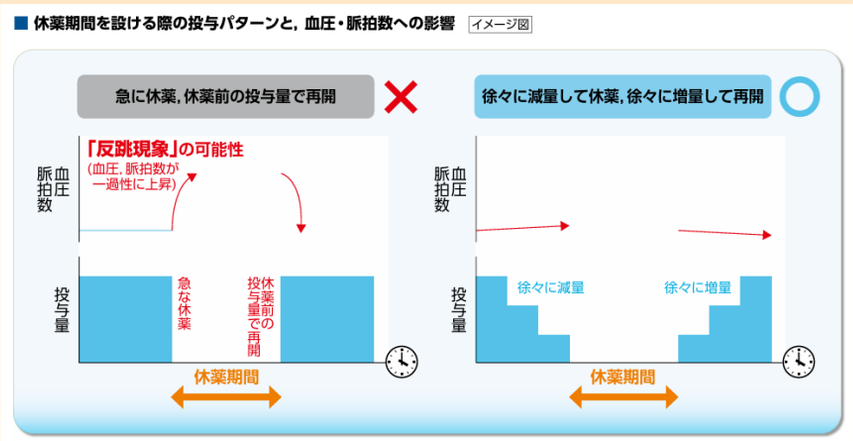
インチュニブ錠は、心血管系への影響（高度な徐脈、低血圧、QT延長等）があらわれる可能性があります

インチュニブ錠の医薬品リスク管理計画書(RMP)においても、重要な潜在的リスクとしてQT延長が記載されております

注意すべきポイント

インチュニブ錠の休薬・再開時には、心血管系への影響を避けるため徐々に減量して休薬・徐々に増量して再開してください

インチュニブ錠適正使用ガイド



投与中は心血管系の状態に注意し、心血管系への影響を示唆する症状（徐脈、失神、ふらつき、動悸等）があらわれた場合には心電図検査等を行い、適切な処置を行ってください

インチュニブ錠は、徐放性製剤です

分割・粉砕したり、かみ砕いて服用すると、急激に血中濃度が上昇し、重篤な副作用が発現するおそれがあるため、分割・粉砕を避け、錠剤のまま服用してください

参考資料
・添付文書、適正使用ガイド、RMP
・PMDA 製薬企業からの医薬品の安全使用に関するお知らせ 2025年2月（https://www.pmda.go.jp/files/000273466.pdf）
・PMDA医療安全情報 No.65 2023年3月（https://www.pmda.go.jp/files/000251752.pdf）